

までには得られませんでした。圧力誘起 CDW 転移と考えている異常を、熱電能で追いかけたデータを図 2 に示します。図の左側が熱流を面内に、右側は c 軸方向に流した結果です。熱流方向依存性が明確に現れ、 $Q \parallel [100]$ のみ僅かに加圧したところからコブ状の異常が観測されています。現在、この異常の詳細の解析を進めており、最初の報告として JPSJ に投稿中です。

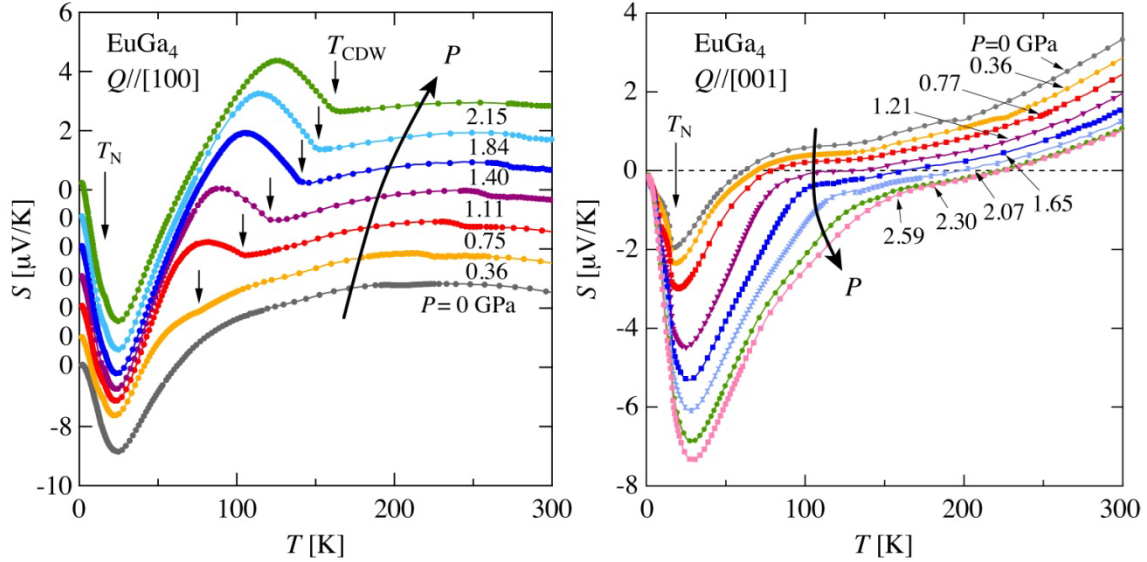


図 2: EuGa_4 の圧力下熱電能の温度依存

まだ極低温までの圧力下熱電能測定は諦めておらず、機会を見つけて再チャレンジを考えています。極低温の圧力下熱電能測定は、きっとそこに大きな発見があるのではないかと期待しています。日頃、授業や業務、学生指導に追われる日々ですが、この客員所員を通して、研究に集中する時間を過ごせたことはとても貴重な時間でした。多くの関係者の方々に深く感謝します。ありがとうございました。